

平成二十六年学力検査

全日制課程 A

第一時限問題 国語

検査時間 九時十分から九時五十分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

- (一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (二) 「解答始め」という指示で、すぐ学科名と受検番号をこの表紙と解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (三) 問題は(1)ページから(6)ページまであります。(6)ページの次は白紙になっています。受検番号などを記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (四) 答えはすべて解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (五) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (六) 「解答やめ」という指示で、書くことをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

学科名			
科			
受検番号			
第			
番			

国語

— 次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問いに答えなさい。

3 2 1
著作権に配慮して掲載を控えています

5 4
著作権に配慮して掲載を控えています

(平田オリザ『わかりあえないことから』による)

—コミュニケーション能力とは何か—による)

(注) ○ ①⑤は段落符号である。

○ 培う^{つちか}＝養い育てる。

○ 斑鳩^{いづなが}の里^{つちか}＝奈良県生駒郡斑鳩町。法隆寺がある。

○ 卑屈^{ひくつ}＝必要以上に自分をいやしめてへりくだること。

○ 尊大^{そんだい}＝いばって偉そうな態度をとること。

(一) ① そのような傾向^① の説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 演劇以外では他者との対話の必要性を全く認めようとしないうこと

イ 価値観や生活習慣がほぼ同じ者同士で独自の文化を育ててきたこと

ウ 自分一人が目立たないように他人と同じ価値観をもちたがること

エ 言葉で説明しなくても異なる文化をもった人々とわかりあえること

(二) ② 説明しあう文化^② の特徴を述べたものとして最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 人々は、他者と議論すること自体を楽しんでいるため、結論のよしあしにあまりこだわらない。

イ 人々は、無能の烙印を押されることを恐れているため、自分の好みや考えを変えようとしないう。

ウ 人々は、ささいなことでもとことん議論し、相手とともに結論を出すという過程を大切にしている。

エ 人々は、相手にわかってもらえないむなしさに耐えながらも、粘り強く説明を繰り返している。

(三) ③ これ^③ がさしている内容として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 日本人が築きあげてきた芸術文化を受け継いでいること

イ 異なる考え方や感性をもつ他者に言葉で説明できること

ウ 言葉では直接表現されていないことまで想像できること

エ 口には出さないコミュニケーションを重視していること

(四) ④ 往々にして^④ の意味として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア たびたび

イ かつて

ウ いつも

(五) 筆者は第五段落で、「対話の基礎体力」を身につける最良の方法について述べている。それを要約して、八十文字以上九十文字以下で書きなさい。ただし、「異なる価値観」、「発見」という二つのことばを使って、「対話の基礎体力」を身につける最良の方法は、……」という書き出しで書くこと。二つのことばはどのような順序で使ってもよろしい。

(注意) ・句読点も一字に数えて、一字分のマスを使うこと。
・文は、一文でも、二文以上でもよい。

(六) 次のアからエまでのの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 互いの意見は「対話」によって大きく変わっていくものである。

イ 「察しあう文化」よりも「説明しあう文化」の方が優れている。

ウ 国際社会を生きていく若者たちは察しあう能力を必要としている。

エ 海外で活躍する芸術家には他者に言葉で説明する力が求められる。

二 次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問いに答えなさい。

1

2

3

著作権に配慮して掲載を控えています

4

5

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

(馬場あき子『歌よみの眼』による)

(注)

- [1] [2] は段落符号である。
- 奥会津あいつづ 福島県の西南部。
- 上がりかまち 榎かまち 家の上がり口の床の端を隠すために付ける横木。
- 祖霊いづら 先祖の霊。
- 山姥やまばば 人里離れた山奥に住むという女の怪物。鬼女。
- 越後えちご 旧国名。今の新潟県の大部分。
- 列伝れつでん 人々の伝記をつらね記した書。
- 折ふしおれふし に ときおり。ときどき。

(一) ①

ユニークな答え とあるが、どのような点がユニークなのか。その説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア がらんとした家での一人暮らしは怖いはずだが、かえって静かであらかたと感じている点

イ 実際は一人で暮らしているのに、多くの祖先と一緒に暮らす家族のようにとらえている点

ウ 祖先に見守られて暮らしているのに、仏壇にお経を上げることがないと言い放っている点

エ 築百八十年のいなか家は一人で住むには広すぎるが、全くさびしくないと言っている点

(二) ②

山羊小母の意識にある人間の時間 と対照的な意味で使われている本文中のことばを、次のアからエまでの中から一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 村の古いなじみの家の一軒一軒にある時間

イ 列伝のように語り伝えられる長い時間

ウ 都市の一隅に一人一人がもつ一生という小さな時間

エ 昔語りの域に入りそうな伝説的時間

③ 安らかな生の時間のことが思われる とあるが、このことばに込め

られた筆者の思いに最も近いものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 遠方から嫁いできた山羊小母たちが、高齡になつても由緒ある家の主婦の座をしつかりと守り、村人たちの一生を見とどけながら暮らしていることに深い感動を覚えている。

イ 山羊小母たちが心穏やかに暮らせるのは、祖先の人生を語り継いできた長い時間の中で生きているからであり、そうした時間が失われつつあることにさびしさを感じている。

ウ 自然や伝統を守りながら静かに生きてきた老女たちの長い時間こそ語り継がれるべきであるが、若者は残らず都会へ出てしまい、伝承する人がいなくなることを恐れている。

エ 祖先の物語を長く守ってきた老女たちの時間は、社会が大きく変わつても語り継がれていくが、自分が生きた時間は忘れ去られてしまふような気がしてあせりを覚えている。

(四) 次の文は、本文中のどの段落について述べたものか。第一段落から第七段落までのの中から選んで、その段落符号を書きなさい。

効果的な擬態語で人物の動きを描写し、その人物がかもし出す雰囲気や魅力を巧みに表現している。

(五) 次の一文が本文から抜いてある。この一文が入る最も適当な箇所を、あとのアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

そんな物語や逸話を伝えるのが老人たちの役割だった。

ア 本文中の「1」

ウ 本文中の「3」

(六) 次のアからエまでのの中から、その内容がこの文章に書かれていることに最も近いものを選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 奥会津にある段差の多い家は、不便さを感じることはあるものの、農業が盛んだったころの村の生活をよく伝えている。

イ 雪深い農村の暮らしには、今もゆつたりとした時間が流れているが、都会の若者たちには想像もできない豊かさがある。

ウ 叔母の暮らしは、都会育ちの人間が忘れてしまいがちな、人が本来もっている時間というものを思い出させてくれる。

エ 叔母が生きてきた時間は、もはや伝説的な物語になっており、次の世代へ受け継ぐことができなくなつてしまつている。

三 次の(一)から(三)までの問いに答えなさい。

(一) 次の①、②の文中の傍線部について、漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

① 冬の海水浴場は閑散としていた。

② 赤ん坊のスコやかな成長を願う。

(二) 次の文中の傍線部③、④について、カタカナを漢字で書きなさい。彼は長年勤めた有名ホテルを辞めて、③シンキ一転、自分のレストランを④シンキに開業した。

(三) 次の文中の「⑤」にあてはまる最も適当なことばを、あとのアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。彼の主張は漠然として「⑤」性に欠けるため、聴衆にはわかりにくい。

ア 偶然 イ 自発 ウ 主体 エ 具体

四 次の漢文（書き下し文）を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。（本文の……の左側は現代語訳です。）

楚の荘王、詹何に問ひて曰はく、「国を治むること奈何。」と。対へ
言つことには
答へ

て曰はく、「何は身を治むるに明らかたれども、国を治むるに明らかた
て
身の治め方はよく知つてゐるが

らず。」と。楚王曰はく、「寡人、宗廟社稷を立てるを得たり。願は
私は 国を打ち立てることができた

くは、之を守る所以を学ばん。」と。詹何対へて曰はく、「臣、未だ嘗
方法を教えてもらいたい
私は

て身治まりて国の乱るる者を聞かず。未だ嘗て身乱れて国治まる者を聞
君主の身が治まつて行いが立派であるのに
国が乱れているという話を聞いたことがない

かず。故に本は「②」に在り。敢へて対ふるに末を以てせず。」と。
根本は
そこで末節のことはお答えしかねます

楚王曰はく、「善し。」と。

なるほどともた

（『淮南子』による）

- (注) ○ 荘王 春秋時代の楚の国王。 ○ 詹何 楚の人。
○ 寡人 〓 「私」のへりくだつた言い方。
○ 宗廟社稷 〓 「宗廟」は代々の先祖をまつた建物、「社」は土地の
神、「稷」は五穀の神のこと。君主は先祖や社稷をまつることから、
ここでは国のことをさす。

(一) ① 奈何 の現代語訳として最も適当なものを、次のアからエまでの中
から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア いつ改めればよいか イ だれに聞けばよいか
ウ どうすればよいか エ どこへ行けばよいか

(二) 「②」にあてはまる最も適当なことを、次のアからエまでの
中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 国 イ 身 ウ 治 エ 乱

(三) ③ 末 の内容として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選
んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 国を打ち立てる際に留意すべき点

イ 国が乱れている場合の対処のしかた

ウ 国がこれからどうなるかという予想

エ 国を守り治めていくための手だて

(四) 次のアからエまでの中から、その内容がこの文章に書かれているこ
とと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 詹何は、楚王の問いに対してそのまま答えるかわりに、国を治め
るといふことの本質について述べた。

イ 詹何は、楚王から繰り返し尋ねられても、国を治めるために必要
な方策を一つも教えようとしなかつた。

ウ 楚王は、王自らが国民の模範となつて行動することを信条として
いたため、詹何の答えに不満であつた。

エ 楚王は、国の治め方についてわからないふりをして詹何に尋ねた
ところ、自分で考えるように諭された。

（問題はこれで終わりです。）

第一時限

国

語

一	(一)									(二)	※一	
	(三)									(四)		
(五)	は	、	「	対	話	の	基	礎	体	力	」	を
	身	に	つ	け	る	最	良	の	方	法		
(六)											90 80	□
二	(一)									(二)	※二	
	(三)									(四)		
	(五)									(六)		
三	(一)	①						②	やかな			※三
	(二)	③ () ④ ((三)	⑤			
四	(一)									※四		
	(三)											
(四)									(二)			
(四)									(四)			
学 科 名									科			
									受 検 番 号			
									第			
									番			
									得 点			
									※			

(注) ※印欄には何も書かなくて可い。

第1時限 国語正答 全日制課程 A

四	(三)	エ	(四)	ア
	(一)	ウ		イ

三	(一)	①	かんさん	②	健 (やかな)
	(二)	③ (心機) ④ (新規)		(三)	⑤
エ					

二	(五)	エ	(六)	ウ	
	(三)	イ		(四)	[5]
	(一)	イ		(二)	ウ

一	(五)	で	あ	る	。	い	の	喜	び	を	味	わ	う	こ	と						
		し	、	新	し	い	発	見	や	出	会	つ	け	出	す	こ	と	を	線	り	返
		く	共	有	で	き	る	部	分	を	見	会	つ	た	と	き	に	、	粘	り	強
		は	、	異	な	る	価	値	観	と	出	身	に	つ	け	る	最	良	の	方	法
		「	対	話	の	基	礎	体	力	「	を	(三)	ウ								
		(六)	エ		(四)	ア	(二)	ウ													